

U.S. Indicators

米国 耐久財受注のモメンタムは強い(07年7月耐久財受注)

発表日：2007年8月24日（金）

～今後マインド悪化の影響を受けるも設備投資は受注残の高い伸び等から増加基調が維持される公算～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

(03-5221-5001 : sei.ji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

- 7月の耐久財受注は前月比+5.9%（市場予想同+1.0%）と加速、輸送機器を除いた耐久財受注は前月比+3.7%（市場予想同+0.6%）と増加した。
- 3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率ではそれぞれ+13.4%、+9.3%と高い水準を維持しており、モメンタムは強い。
- 機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は7月に前月比+0.5%増加に転じた。4～6月対比年率では+0.9%と鈍化していることから、7～9月期の機械・ソフトウェア投資は前期から減速する公算が大きい。
- 非国防資本財受注（除く航空機）は7月に前月比+2.2%（前月同▲0.1%）と増加し、4～6月期対比年率では+6.4%とプラスを維持した。さらに、非国防資本財受注残（除く航空機）は7月に同+1.5%と加速、4～6月期対比年率では+10.1%と高い水準を維持しており年内は機械・ソフトウェア投資の拡大が持続する可能性が高いことを示唆している。
- 市場予想を上回った同統計公表後、株価、ドルが上昇し、債券価格は下落したが持続しなかった。

耐久財受注 (Advance Report on Durable Goods Manufacturers' Shipments and Orders)

	出荷				受注				在庫			
	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器	耐久財	除く輸送機器		非国防資本財 除く輸送機器
05/4Q	+3.5	+3.6	(+8.9)	+2.9	+6.1	+2.8	(+10.1)	+1.9	+2.3	+1.5	+0.2	
06/1Q	+1.1	+2.5	(+8.1)	+2.5	▲1.2	+2.9	(+9.2)	+4.7	+0.9	+2.0	+1.7	
06/2Q	+0.4	+0.8	(+8.5)	+1.1	+1.4	+1.9	(+10.4)	+0.4	+2.5	+2.6	+1.5	
06/3Q	▲0.2	+0.5	(+7.6)	+0.7	+1.9	▲0.1	(+7.7)	+2.5	+2.9	+3.3	+3.2	
06/4Q	▲0.4	▲1.3	(+2.5)	▲0.8	▲1.6	▲1.4	(+3.3)	▲1.5	+1.4	+1.5	+1.8	
07/1Q	▲1.1	▲0.9	(▲0.9)	▲2.9	▲2.5	▲1.6	(▲1.2)	▲4.3	+0.6	+0.1	+0.4	
07/2Q	+2.2	+2.8	(+1.0)	+2.3	+3.6	+2.6	(▲0.5)	+3.1	+0.4	▲0.1	+0.4	
07/01	▲1.5	▲0.3	(▲0.1)	▲4.2	▲6.1	▲3.1	(▲1.0)	▲4.4	+0.4	+0.2	+0.5	
07/02	▲1.5	▲1.4	(▲1.9)	+0.6	+0.5	▲0.6	(▲1.0)	▲2.4	+0.1	+0.0	+0.1	
07/03	+1.3	+1.0	(▲0.9)	+1.6	+5.1	+1.6	(▲1.6)	+4.6	+0.1	▲0.1	▲0.3	
07/04	+2.0	+3.4	(+3.3)	+0.9	+1.0	+2.3	(+1.2)	+2.0	+0.4	▲0.0	▲0.1	
07/05	+0.2	▲0.3	(+0.9)	+0.7	▲2.4	▲0.3	(▲0.2)	▲1.5	+0.1	▲0.1	+0.4	
07/06	▲1.1	▲1.4	(▲1.0)	▲0.8	+1.9	▲1.2	(▲2.5)	▲0.1	▲0.0	+0.0	+0.2	
07/07	+3.8	+1.9	(+1.3)	+0.5	+5.9	+3.7	(+1.3)	+2.2	+0.1	▲0.0	+0.4	

(出所) 商務省

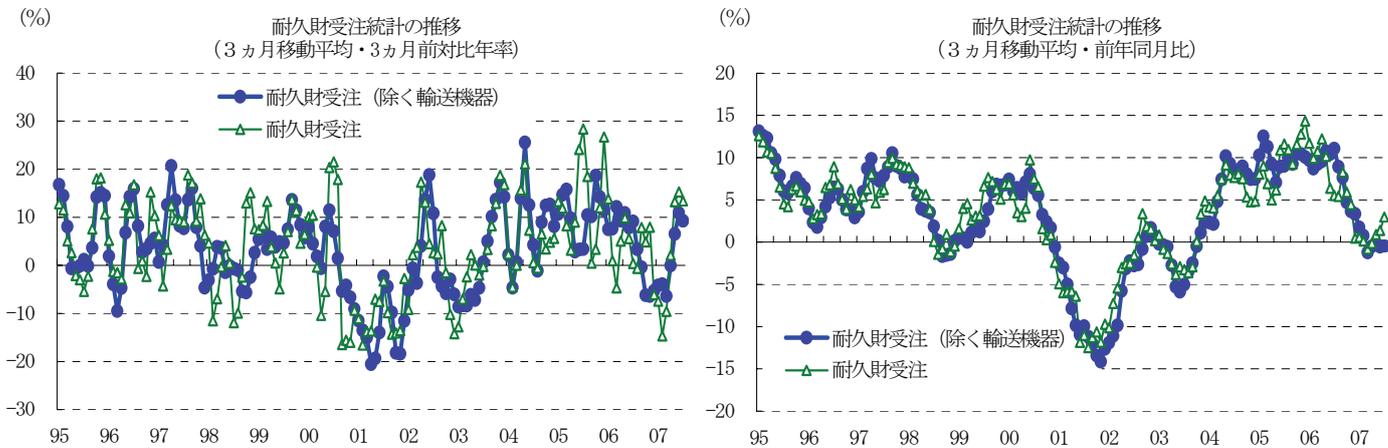
(注) 四半期は前期比、月次は前月比伸び率。()内は季節調整値の前年比。

耐久財受注が前月比+5.9%と加速、輸送機器を除く耐久財受注は同+3.7%と増加

07年7月の耐久財受注は前月比+5.9%（前月同+1.9%）と加速し、市場予想の同+1.0%を大幅に上回った（5、6月合計で0.3%ポイント上方改定）。一次金属、加工金属、コンピューター・電子製品、一般機械、輸送機械が増加した。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率でも+13.4%（前月+15.3%）と高い伸びを維持しており耐久財受注のモメンタムは強い。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

7月の輸送機器を除いた耐久財受注は前月比+3.7%と市場予想の同+0.6%を大幅に上回った（5、6月合計で0.8%ポイント下方改定）。3ヵ月移動平均・3ヵ月前対比年率では+9.3%（前月+10.9%）と高い伸びを維持しており、耐久財受注（除く輸送機器）のモメンタムも強い状態が続いている。



高水準の受注残を背景に耐久財生産の拡大ペースは今後加速すると見込まれる

耐久財在庫が前月比+0.1%増加にとどまった一方、耐久財出荷が同+3.8%と増加したため、耐久財在庫率は1.454ヵ月（前月1.467ヵ月）と小幅低下した。このように在庫の水準が低いことに加えて、耐久財受注残が同+1.5%（前月同+1.0%）と加速していることから、耐久財生産の伸びは速まると予想される。

電気機器・同部品以外は拡大

業種別の受注動向をみると、電気機器・同部品が減少した一方、加工金属、一次金属、コンピューター・電子製品、一般機械、輸送機械が増加した。

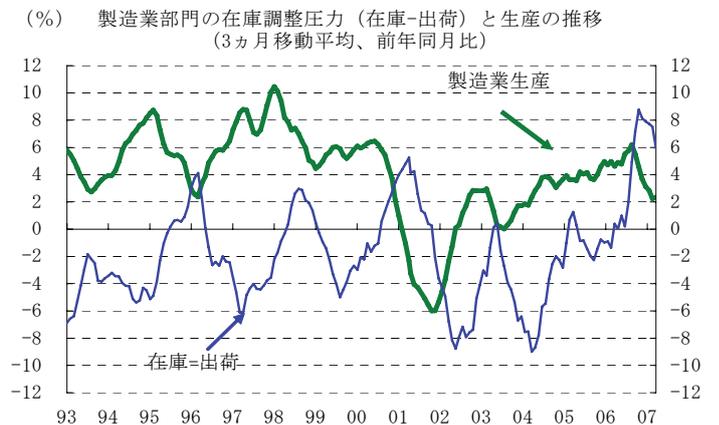
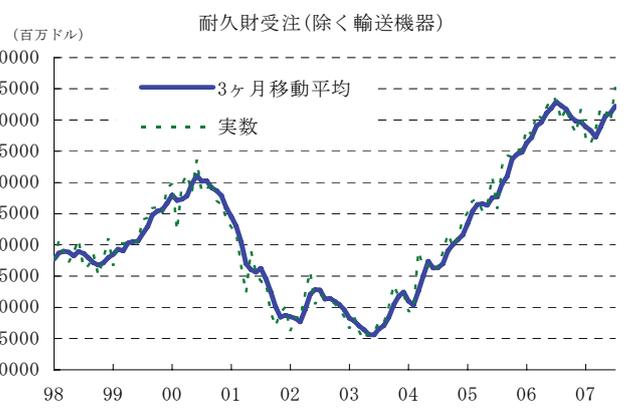
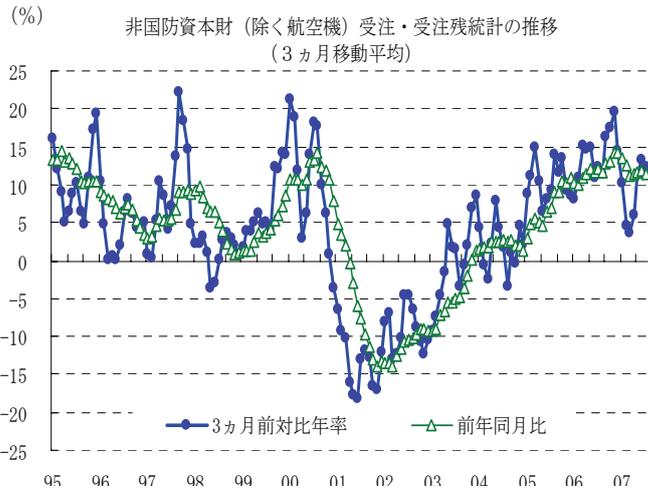
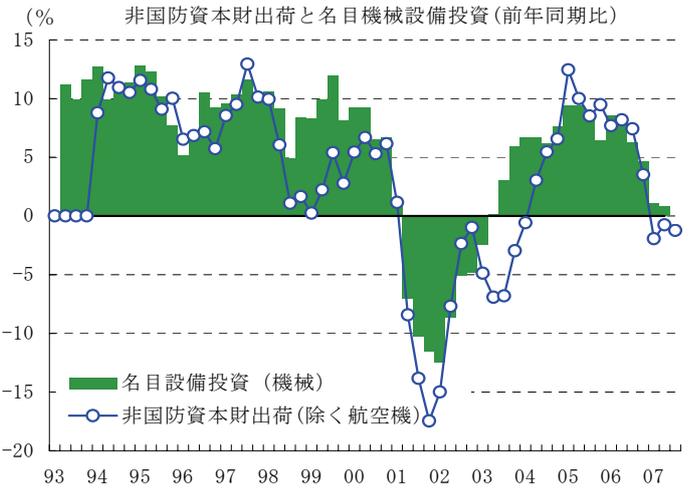
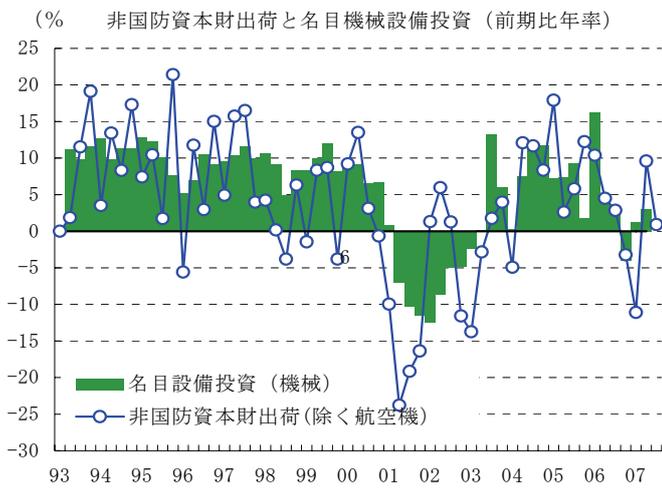
コンピューター・電子製品では、コンピューター・同関連製品が前月比▲4.0%（前月同▲4.5%）とマイナスが続いたが、通信設備が同+20.7%（同▲9.3%）と急増したため、全体でも同+7.4%（同▲4.4%）と増加した。一方、輸送機器は前月比+10.8%（同+9.2%）と増加ペースが加速した。自動車・同部品が同+9.8%（同▲0.7%）とプラスとなったうえ、ボーイングの受注増などで非国防航空機・同部品が同+12.6%（同+37.1%）、国防が同+15.8%（同+14.1%）と高い伸びを維持した。

2007年7～9月期の機械・ソフトウェア投資は小幅減速する見込み

設備投資関連では、機械・ソフトウェア投資の一致指標である非国防資本財出荷（除く航空機）は7月に前月比+0.5%（前月同▲0.8%）と増加した。4～6月対比年率では+0.9%と鈍化しており7～9月期の機械・ソフトウェア投資は減速すると予想される。

非国防資本財受注（除く航空機）は7月に前月比+2.2%（前月同▲0.1%）と増加した。4～6月期対比年率+6.4%（4～6月期同+13.1%）とプラスを維持した。さらに、非国防資本財受注残（除く航空機）は7月に前月比+1.5%（前月+1.0%）、4～6月期対比年率で+10.1%（4～6月期は前期比年率+13.3%）と非常に高い伸びを維持しており、現在の信用収縮などが経営者マインドを大幅に悪化させない限り年内は機械・ソフトウェア投資の拡大が持続する可能性が高いことを示唆している。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

